

# 栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	大阪府
推進地域名 (再委託先)	大阪市

## 1 事業推進の体制

実践中心校	大阪市立大淀中学校
協力校	北区小学校
関係機関	大阪市小学校教育研究会 大阪市栄養教職員研究会

## 2 各都道府県教育委員会の取組

### (1) 食育の方針（取組内容）

<p>成長期にある児童生徒が、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を発達段階に応じて身に付けることができるよう、小中一貫した継続性に配慮した食に関する指導の充実を図るなど、学校教育全体で食育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・栄養教育推進事業の実施（栄養教諭未配置校への出張授業やPTAへの講話など）</li><li>・中学校へ食育啓発資料（「食育つうしん」「給食で栄養を考えよう」）の配付</li><li>・小学校給食献立の食に関する指導参考資料及び中学校給食での食育資料「給食カレンダー」の作成と配付</li></ul>
--

### (2) 実践推進地域への指導・支援内容など

<p>小学校教育研究会の学校給食・食育部や栄養教職員研究会の代表等を委員とした食育推進検討委員会を市教委に設置して具体的な食育の進め方についての検討を行った。また、北区の小学校の栄養教諭とも連携して、取組を進めた。</p> <p>評価指標としては、生徒にアンケートを実施して、「食生活を考えてみようと思いますか」の項目に肯定的な回答を70%以上とすることや北区の全ての小学校でのPTAへの食に関する講話を栄養教諭が実施することとする。</p>
---

## 3 具体的な取組などについて

<b>テーマ1</b>	小中一貫した食に関する指導の充実のための方策
<b>評価指標</b>	生徒へのアンケートで、「食生活を考えてみようと思いますか」の項目に肯定的な回答を70%以上とする
<b>効果</b>	栄養教諭が「食に関する指導の全体計画」や「年間指導計画」の見直しを行う中で、教科や領域で食育を進めるための話し合いを進めて行くうちに、教職員全体の食育への関心が高まった。また、小学校と中学校の栄養教諭と一緒に指導案を検討したり、授業交流の取組を行ったりすることで、小中一貫した食育の在り方を進めることができた。生徒の食に関する関心も高まり、「食生活を考えてみようと思いますか」の項目は70%となった。また、学校給食への関心も高まる中で、選択制の給食の実施率も大阪市の平均より高くなっている。

### (取組状況)

#### (1) 実践中心校（大淀中学校）における取組

実践中心校（大淀中学校）において「食に関する指導全体計画」や「食に関する指導年間指導計画」の検討・見直しを行い、食育を推進した。

○第2学年 技術・家庭科「調理実習」

○第3学年 保健体育科「食生活と健康」

3年生は、2学期以降、部活の関係などから運動量が減る傾向があるので、消費するエネルギーと摂取するエネルギーの関係も配慮して、栄養のバランスのとれた食事をとろうとする態度を身に付けさせることをねらいとした授業を行った。

○生徒集会で7月に「夏健康と食事について考えよう」、9月「朝食の大切さを見直そう」、11月「栄養のバランスのとれた食事」をテーマに栄養教諭による指導を行った。

○昨年度からデリバリー方式による学校給食が開始されている。

学校給食を食育の教材とするために、献立や食材についての説明をした「給食カレンダー」を掲示している。また、「給食で栄養を考えましょう」の配付資料も活用した。

○生徒用の食育啓発資料の「食育つうしん」や「食育だより」を配付した。



### (2) 北区における栄養教諭未配置小学校への食育推進（出張授業における食に関する指導）

小学校の栄養教諭未配置校において、学級活動の時間に栄養教諭が出向いて、出張授業を行っている。学年毎に題材を設定し指導案や教材を作成して、各学校と連携をとりながら、食に関する指導を進めている。指導後には児童にアンケート調査を行い今後の指導の改善にいかした。

#### 【各学年の食に関する指導の題材】

第1学年 「すききらいなくたべよう」「まめとともだちになろう」

第2学年 「食品を三色に分けよう」「のみものをえらぼう」

第3学年 「やさいを食べよう」「骨を丈夫にする食べ物を知ろう」

第4学年 「朝食を食べよう」「よくかんで食べよう」

第5学年 「おやつについて考えよう」「大阪の食べ物を知ろう」




第6学年 「バランスのよい食事をしよう」「中学生の食事について考えよう」

### (3) 小中一貫した食に関する指導の取組

小学校と中学校で継続した食育を検討するために、小学校での食に関する指導の授業を中学校の栄養教諭が見学したり、小学校の栄養教諭が中学校の生徒に指導を行ったりするなどの交流を行う。また、小学校の栄養教諭と中学校の栄養教諭と一緒に指導案の検討を行った。

○12月と1月に中津小学校において「食べ物を三色に分けよう」（2年生）・「バランスのよい食事をしよう」（6年生）をテーマに小・中学校の栄養教諭がチームティーチングにより授業実践の交流を行った。



<b>テーマ2</b>	家庭・地域に学校における食育を啓発していくための方策
<b>評価指標</b>	北区の全ての小学校での PTA への食に関する講話を栄養教諭が実施すること
<b>効果</b>	北区の全ての小学校で、給食試食会における保護者を対象とした食育の講話を実施したり、食育展を開催したりすることにより、「食育」についての関心が高まった。また、実際に栄養バランスのとれた献立例やいろいろな食品に含まれる栄養素の働きを示すことで、家庭での栄養バランスのとれた食事の大切さについて理解が深まった。
<p><b>(取組状況)</b></p> <p>(1) 食育展の実施</p> <p>①目的 保護者を対象とする展示を行うことにより、「食に関する指導」についての関心を高め、家庭における食育の重要性についての周知を図る。</p> <p>②内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食に関する指導の内容の掲示を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間、給食時間に指導している「飲み物をえらぼう」の内容や指導教材の掲示</li> </ul> </li> <li>○大阪市の学校給食についての展示を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食で使用している食品の展示</li> <li>・給食ができるまでの様子の展示</li> <li>・給食献立のレシピ集の展示</li> </ul> </li> <li>○食育アンケートの結果を紹介した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食に関する内容や給食の嗜好調査などを紹介</li> </ul> </li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p>(2) 北区役所と連携した食育展の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○7月29日～31日 北区役所イベント広場にて食育展と講和「お箸の使い方について」を実施した。</li> </ul> <p>(3) 小学校の PTA 給食試食会において栄養教諭による食に関する講話を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北区の全ての小学校での給食試食会で、栄養教諭が「大阪市の学校給食につて」や「食品添加物について」などの講話を行った。また、食育講座も P T A を対象に実施した。</li> </ul>	

<b>テーマ1～2に共通する取組</b>	
<b>評価指標</b>	朝食を「食べていない(あまり食べていない)」と答える児童生徒の割合を全国平均以下にする。
<b>効果</b>	児童生徒が朝食の大切さを知り、食べようとする意識は高まってきている。しかし、朝食を食べない児童生徒は少なくなっているが、全国平均には達していない。
<p><b>(取組状況)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒に授業や講話などで栄養教諭より朝食の効果や必要性についての指導を行った。また、「食育つうしん」や「給食だより」の配付資料や掲示資料、委員会活動などで朝食をテーマにとりあげて取り組んだ。</li> <li>○保護者に講話や配付資料などで「朝食の大切さ」についての啓発を行った。また、簡単にできる朝食レシピ集を作成し給食展で配布をした。</li> </ul>	

#### 4 事業全体を通じて、特に効果のあった方策などについて

- ・栄養教諭の配置された中学校において、栄養教諭がコーディネーターとなり食に関する指導を進める中、教職員の食育についての関心が高まった。また、栄養教諭による授業や生徒集会での講話なども効果があった。
- ・小学校と中学校での食育の連携を進める中で、小学校で行っている食に関する指導の指導内容を中学校の栄養教諭も一緒に検討した。そこで、小学校での指導内容を中学校へとつなげていく方法について、いくつかの成果があった。
- ・食育の啓発を目的とした、保護者を対象とした食育展を実施し、学校における食育を広めることができた。また、区役所と連携して食育を推進することで学校での取組をより広く理解してもらえた。

#### 5 各都道府県教育委員会における事業成果の活用について

- ・今年度の事業を「研究事業実施報告書」としてまとめ、本市の各中学校と各小学校及び区役所に配付して広く啓発した。
- ・大阪市栄養教職員研究会の事例研究発表会で報告を行い、取組を広めていく。

#### 6 今後の課題（今回の事業により新たに見えた課題など）

- ・今まで中学校では学校給食が実施されていなかったこともあり、学校給食を中心とした食に関する指導の取組が進んでいなかった。中学校での学校給食が昨年9月より市内の全校で実施されることになり、今後は中学校における、学校給食を活用した食育の取組を検討していく必要がある。小学校で行われている学校給食を中心とした食に関する指導を中学校でも継続していかなければならないと考える。  
また、小中一貫した食育の取組についても、小学校で積み上げた指導内容をいかにして、中学校へつないでいくのが課題となる。小中9年間を通した指導計画のあり方や指導内容などを検討していく必要がある。
- ・今後、小中一貫した食育をよりいっそう進めるために、小学校と中学校の栄養教諭の交流を活発にして、食育展や地域連携などの共通の取組をとおして具体的な方法を検討していく。